



震災遺構見学ツアーへ参加

8月24日午前中、宮城県名取市閑上(ゆりあげ)地区での震災遺構学習に、南紀高校から加藤会長と大川副会長が参加しました。閑上地区は、2011年の東日本大震災において、約8メートルの津波で人口の1割の住民が犠牲となり、町は壊滅状態に。12年を経た現在、復興はされつつも、災害危険区域には非可住地として制限が設けられ、震災前のかつての街並みはほぼ無い。語り部の平沼氏による震災当時とその後の壮絶な体験談を拝聴し、震災慰霊碑に向かって犠牲者のご冥福をお祈り申し上げました。



宮城県名取市震災メモリアル公園にて
8月24日 宮城県名取市閑上地区

第72回全国高等学校PTA連合会大会 宮城県仙台市で開催

8月24日午後より、仙台サンプラザホールにおいて、佐藤翔輔氏(東北大学災害科学研究所・准教授)による「実践的な災害対応能力を身につけるためのこれからの防災教育案」の分科会講演や、大学教授・高校教諭・PTA役員・高校生を交えた、防災教育に関するパネルディスカッションを拝聴しました。

翌25日午前中、第72回全国高等学校PTA連合会大会全体会がカメイアリーナ仙台で開催。式典後に、仙台育英学園高等学校・硬式野球部監督の須江航氏による「伝わる言葉～失敗から学ぶ～」の講演を拝聴しました。南紀高校から加藤会長・大川副会長・久保事務長が参加しました。

大会に参加して

8月23日～25日、白浜～東京～仙台市の3日間の行程の中で、第4ブロック高校のPTA役員の皆さんと行動を共にしながら、大変実りのある学びの場となり、交流を結ぶことができました。今後とも周辺高校PTA役員さんと共に協力しながら、子どもたちの健全育成に活かしてまいりたいと思います。とりわけ、宮城県は、東日本大震災の被災地であり、実際に足を踏み入れ、語り部さんの話を聞きながら当時の状況を我が事として想像しました。防災や減災対策は、「我が事」として捉えられるかで、その後の対策は変わってきます。平時の備えとして、地震による家具の転倒防止のための固定はしていますか？ 火災予防のための住宅用火災警報機は設置していますか？ 家族で避難の際の準備、備蓄品、経路、場所の確認はしていますか？ 地域の避難訓練には参加していますか？ 等は、ほんの一例です。あってはならないこと…、それは備えへの無関心や楽観視であり、それこそが、災害の被害を拡大させるという言葉が胸に、帰路に着きました。